

安全データシート

電気泳動前処理キット_Solution A

FILE NO.: SDS-0183-JP

SDS DATE: 2023/04/01

1: 製品及び会社情報

製品名: 電気泳動前処理キット_Solution A
製品番号: SR-4011

会社名: 株式会社ファーマフーズ
住所: 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49

〈緊急連絡先〉 月曜～金曜、午前9時～午後5時
担当部署: バイオメディカル部 アプロサイエンスグループ
住所: 徳島県徳島市南末広町4-53 エコービル4階
電話番号: 088-678-6372
FAX 番号: 088-678-6373

2: 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1
生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)

GHS ラベル要素 絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

安全対策 使用前に取扱説明書入手すること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。ー禁煙。
容器を密閉しておくこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

廃棄 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

安全データシート

電気泳動前処理キット_Solution A

FILE NO.: SDS-0183-JP

SDS DATE: 2023/04/01

3: 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分

化学名	重量パーセント	化審法官報公示番号	安全労働衛生法	Cas No.
トリクロロ酢酸	<20%	2-1188		76-03-9

記載なき成分は、危険有害性区分に寄与せず、国内法令によって情報伝達が求められる物質ではありません。

4: 応急処置

眼に入った場合 清浄な水で数分以上洗眼し、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を多量の水で洗浄する。
吸入した場合 直ちに新鮮な空気の場所に移し、保温、安静に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 口をすすぐ。水又は牛乳を飲ませる。医師に連絡する。

5: 火災時の措置

消火剤 水噴霧、対アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤 棒状放水
特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器が熱に晒されているときは、移さない。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。

6: 漏出時の措置

回収・中和 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材 危険でなければ漏れを止める。
二次災害防止策 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い 適切な保護具を使用し、眼、皮膚、着衣への接触を避ける。
屋内作業場における取扱場所では、局所排気装置を使用する。
保管 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。

8: ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定
許容濃度 日本産衛学会(2013年度版) 未設定
ACGIH(2013年版) TWA 1ppm
設備対策 屋内作業場で使用する場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。
保護具 保護眼鏡、ゴム手袋、防護マスク、長袖作業衣

安全データシート

電気泳動前処理キット_Solution A

FILE NO.: SDS-0183-JP

SDS DATE: 2023/04/01

9: 物理的・化学的性質

形状	液体
色	無色
臭い	データなし
pH	強酸
融点	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
比重	データなし

10: 安全性及び反応性

安定性	通常条件下では安定。
避けるべき条件	混触危険物質との接触
混触危険物質	強酸化剤、強塩基、水反応性物質
危険有害な分解生成物	塩化水素

11: 有害性情報

急性毒性

Chemical Name	経口	経皮	吸入: 蒸気
トリクロロ酢酸	ラット LD50 3320mg/kg	皮下 マウス LD50 270mg/kg	ラットの LC50=63,000 ppmV (DFGOT vol.12 (1999))、 66,280 ppmV (124.7 mg/L) (SIDS (2005))

12: 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)	Pimephales promelas (fathead minnow) LC50 2000mg/L/96H Daphnia magna (Water flea) EC50 1460~2000mg/L/48H Leuciscus idus(Golden orfe) LC50 1000mg超/L/48H Daphnia magna (Water flea) EC50 2000mg/L/48H
分解性	微生物等による分解性が良好でないと判断される物質
生物蓄積性	魚介類の体内において「濃縮性又は蓄積性が無いあるいは低い」、「高濃縮性ではない」と判断される物質。

13: 廃棄上の注意

関連法規並びに地方自治体の基準に従って内容物/容器を廃棄すること。

14: 輸送上の注意

国連番号	2564
国連品名	トリクロロ酢酸水溶液
国連危険有害性クラス	8
容器等級	II
海洋汚染物質	なし

15: 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条1、施行令第18条)号)
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質管理促進法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
船舶安全法	腐食性物質
航空法	腐食性物質
大気汚染防止法	有害大気汚染物質

16: その他の情報

- * 本データシートは試薬としての一般的な取扱いを前提に記載しており、試薬以外での取扱いや大量の取扱いに関しては考慮されていないことがあります。
- * 本データシートはすべての情報を網羅しているものではありません。
- * 本データシートの内容は追加又は訂正されることがあります。
- * 本データシートは安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- * 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。

End of Safety Data Sheet